

平成19年8月2日

兵庫県知事 井戸 敏三 様

公共事業等審査会  
会長 朝日 稔

### 公共事業等審査会の審査結果について

公共事業等審査会(以下「本審査会」という。)は、平成19年6月6日に、兵庫県知事から審査依頼を受けた投資事業評価要綱第2条第1号の新規事業に係る審議案件7件について、投資効率や実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業の必要性、有効性、効率性、環境適合性、優先性の観点から慎重に審議を行った。

その結果、新規事業7件について「新規着手」することが妥当と判断した。

事業の実施にあたっては、下記に記載した本審査会の意見を十分に尊重しつつ、個別事業毎に付記した審査結果並びに審査時の意見に留意のうえ、効果的で効率的な公共事業の推進に努められたい。

### 記

今日、我が国では、急速な少子高齢化、人口減少に直面して、経済社会システムの各分野において持続可能な仕組みづくりが求められている。

地方公共団体の財政運営においても、三位一体改革による地方交付税の削減等により厳しい状況が続くなか、社会基盤整備を進めるにあたっては、選択と集中により、真に必要な分野への投資が求められるところである。

今後の社会基盤整備においては、広域行政体である県としての責務を踏まえた上で、防災対策、交通安全など安全・安心の確保、広域的な地域づくりの支援など、県民生活の質的向上に資する事業を重点的、計画的に実施するよう配慮されたい。

なお、参画と協働による地域づくりを推進するためには、公共事業の情報を共有することが重要であることから、事業の内容や必要性、整備効果について広く県民にわかりやすく示すよう努められたい。

以下、審議案件7事業に対する審査結果を述べる。

## 【新規事業】

### 1 農村総合整備事業

#### (1) 農村振興支援総合対策事業（新温泉町）

新温泉町は平成17年10月に旧浜坂町と旧温泉町が合併して誕生した町であるが、旧浜坂町域においてはCATV網が未整備であり、既に整備された旧温泉町域との不均衡が生じている。

この事業の実施により、合併した両町の住民間の新しいコミュニティの構築や都市との交流促進、生活の利便性向上及びTV電波難視聴区域の解消等を図るものであり、事業着手は妥当である。

なお、ひょうご情報交流戦略を踏まえ、今後、県下のCATV運営主体による広域的な連携を一層推進することにより、サービス提供や管理運営の効率化に努められたい。

### 2 道路事業

#### (2) 国道178号浜坂道路（香美町～新温泉町）

この道路は、高速道六基幹軸の日本海沿岸軸を構成する鳥取豊岡宮津自動車道の一部区間で、線形不良や急勾配等の交通隘路が多い国道178号のバイパス整備であり、地域間交流の促進、産業・観光の活性化、異常気象時の交通確保等に対し十分な効果が見込まれる。加えて、過疎化が進み高齢化率の高い但馬地域における三次救急医療機関へのアクセス性を向上させる等、地域の安心・安全確保にも寄与することから、事業着手は妥当である。

なお、冬季の風雪対策など、安全で快適な走行環境の確保に努めるとともに、観光資源としても重要な豊かな自然環境の保全にも十分配慮して取り組まれない。

### 3 街路事業

#### (3) 都市計画道路沖浜平津線（高砂市荒井町）

都市計画道路沖浜平津線は、東播磨地域の南北交通を担う重要な路線であり、当該区間を残して前後の区間は整備済みとなっている。この事業の実施により、臨海部と内陸部を連携する広域ネットワークの形成を図るとともに、慢性的な渋滞の解消及び歩行者・自転車利用者の安全性向上に資するものであることから、事業着手は妥当である。

については、事業実施に際して、歩行者と自転車の混在による事故防止等に十分配慮し、より安全で快適な歩道空間の創出に努められたい。

## 4 河川事業

### (4) 一級河川 円山川水系六方川 (豊岡市)

六方川排水機場は、六方川流域の内水による浸水対策として、昭和33年に県が設置し、その効果を発揮してきたところであるが、設置後約50年が経過し老朽化が著しく、機能保持が困難となってきた。この事業は、老朽化した排水機場の改築を行い、地域住民の安全・安心を確保するものであり、事業着手は妥当である。

なお、六方川流域の被害軽減を図るため、関連する国の直轄事業とも調整を図りながら総合的な内水対策の推進に努められたい。

## 5 県営住宅整備事業

### (5) 西宮櫛塚住宅建設事業 (西宮市)

### (6) 伊丹小松原住宅建設事業 (伊丹市)

### (7) 明石舞子住宅建設事業 (明石市)

これらの県営住宅は、築後38年から40年が経過した住宅であり、耐震性、設備等の老朽化、狭小な住戸等の課題を抱えている。このため、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、耐火・耐震構造、防犯設備を備えた住宅へ建替えることにより、居住水準の向上と安全・安心を確保するとともに、多世代の居住に対応した住まいを提供するものである。また、周辺住民との交流をめざすコミュニティプラザや広場、緑地などのゆとりある公共スペースを整備し、快適な生活空間を創出するものであり、事業着手は妥当である。

なお、建設後は、外壁塗装等の周期的に行われる計画修繕を適切に行うなど、建築物の長寿命化対策を十分に図られたい。

また、明石舞子住宅については、明舞団地再生計画の全体計画を踏まえ、多世代が交流できるまちづくりとの整合に留意されたい。